造園

技能をマイスターに学ぶ



知識の体得と同時に、実践・実行を志す「知行合一」を校訓とする新潟県立新発田農業高等学校。同校では6年前からマイス ター制度を利用しています。学ぶだけでなく、実践するための確かな技能を習得するため同校出身の造園マイスター遠藤太一氏 を招聘。造園業界の新たな担い手となる人材を送り出しています。

ものづくりマイスター派遣先学校

■ 新潟県立新発田農業高等学校

所在地 新潟県新発田市大栄町6-4-23 生物資源科/環境科学科/食品科学科

設立年 明治43年 学校長 佐々木 雅伸 在校生数 480名



テーマ

「生きた技能」が、学びの礎になる。

*『私たちが、《ものづくりマイスター》*の派遣をお願いした理由。*》*

卒業後、現場で恥をかかないよう。 マイスターからの学びを、明日への糧に。

ものづくりマイスターに指導していただくことは、スペシャリストな らではの技能や知識を生徒たちに伝えていけるところに意味が あると思います。実際に指導していただく場面を見て、目から鱗 が落ちる思いがしました。私たちはまず教科書に忠実な指導を しますが、現場現場での対応は違う。道具ひとつ使うにしても、 「こう使えばこういう効果が出る」という効率を重視し、もっとも 精度の高い方法で進めていく。さすが第一線で活躍されている 方ならではのやり方だと感心しました。またこの制度を利用する ようになってから、引っ込み思案だった生徒が自分から質問しに 行くようになったり、生徒たちの様子にも変化がみられるように なりました。当校には、卒業後に造園業界を志す学生も少なく ありません。彼らが実際に現場に出たときに「こんなこともでき ないのか!」と言われないよう、制度を上手に活用し、きちんとし たカタチで送り出してあげたいですね。



教諭 千葉 哲弥さん

実施したカリキュラム

実施回数:8回 受講者数:環境科学科3名

実施場所:新潟県立新発田農業高等学校 環境科学科実習圃場

教育プログラムの解説

庭園や公園などを造る「造園」。植物・石・ 水など、主に自然資源を用いて屋外に快適 な環境や景観を創り出します。プログラムで は四つ目垣(竹垣)の施工に際して、柱の割り 方や竹の切断、石の配置・向きなどを中心に マイスターがアドバイスなどを交えながら実 技指導。造園2級の技能検定課題の克服 に向けて、時間内に課題がクリアできるよう タイムトライアルなども行っています。

プログラム内容

四つ目垣の施工 1回目

(竹材・柱の天端の切断、シュロ縄の結び方)

2回目 四つ目垣の施工(竹材・柱の並べ方)敷石・石板の設置

敷石・石板の設置、自然石の配石(1)

敷石、石版の設置、自然石の配石(2) 4回目

5回目 技能検定課題の実施(1)

技能検定課題の実施(2) 6回目

7回目 技能検定課題の実施(3)

これまでの振り返り、仕上げポイントの解説

座談会 INTERVIEW ものづくりマイスター × 受講生

「実技指導を通して、こんなことを学びました。」

ものづくりマイスター(写真_右から2番目)

遠藤 太一さん

昭和21年牛まれ

昭和52年度 1級技能士「造園(造園工事作業)」取得 平成18年度「にいがたの名工 | 認定

平成25年度 厚生労働省ものづくりマイスター「造園」認定

新潟県で50年以上にわたり作庭家として活 動する遠藤さん。国指定の名勝庭園「貞観園」 の修復工事に携わり、平成18年には県内外 で活躍する卓越技能者に贈られる「にいがた の名工 | にも選ばれました。



清田 一樹さん 環境科学科3年生

水害に見舞われた故郷を見て、災害に強く 美しい街の景色をつくりたいと思った。

受講した生徒(写真_左から2番目)

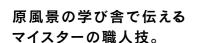
佐藤 瞬さん 環境科学科3年生

造園は大変だけど、できあがったときに達成感 がある。めざせ浩園2級合格!

受講した生徒 (写真_左)

村山 早紀さん 環境科学科3年生

樹木の手入れの難しさを知るほどに、造園 という仕事の奥深さに着かれている。



遠藤さん この学校は私の母校です。 私が通っていたころの校舎はまだ木造 の二階建て。校門から入ると、校舎に 沿って生えていたアカマツの並木を庭 師さんが剪定していました。鋏を鳴らし 楽しそうに会話している姿を見て「わた しも、あの仕事に就きたいな」と思った ことを憶えています。ですから、いまこ こで皆さんの指導にあたることには 格別な思いがあります。

清田さん 最初「どんな指導を受ける んだろう……」と不安でしたが、実際に はじまってみると遠藤マイスターの方 から色々と話しかけてくれて、とても楽 しく学ぶことができました。

佐藤さん 遠藤マイスターは一つひと つの技能とそれに伴う動作がスゴい! 例えば縄の結び方とか、竹の切り方、 石の並べ方。竹の切断面は、僕らがや るとガサガサとささくれてしまいますが、 遠藤マイスターの場合はつるつるとして いて美しく、剥げたり切れたりすることが ない。やっぱり上手いなあと感じました。

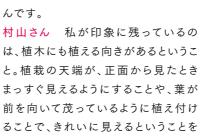


実践で培われた技能が 力になる。

遠藤さん 今回のプログラムでは、検 定の作業内容に沿って重要なポイント を重点的にやりました。「どうしたらき れいになるか」「どうしたら収まりが良く なるか」――。佐藤さんが言ったように、 竹を切るのにもちょっとしたコツがある んです。

教えてもらいました。

清田さん シュロ縄の結びも自分たちが やると緩くなってしまうのに、遠藤マイ





スターがやると固くて見た目もきれい。 お手本をじっくりと見せてもらうことで、 どこをどうすればよいか分かるように

なりました!

遠藤さん もうひとつ大切なことは、時 間の短縮。例えば竹の横にキリで穴を 開けるときも、1本1本やるのではなく3 本並べて同時に穴を開ける。検定の場 合は無駄な時間の使い方をしていたら 間に合わない。スムーズな動作で、時 間を縮めていく工夫が必要です。



造園を学び、知ることは 人生で幅広く役立つ。

佐藤さん 指導してもらううちに作業 時間もみるみる早くなって、技能が身 についたと思いました。それが自信に もつながりましたね。

清田さん 実際に目の前ですごい職 人技を見せてもらったことは良い経験 になりました。大学に進学して土木の 勉強をしますが、今回教えてもらった ことを活かしながら公園の設計などを やってみたい。そして、将来は遠藤マイ スターのように教える側の人間になれ たらいいな。

村山さん 私は将来、造園の仕事を目 指しています。周りに同じような職業を 希望する女性は少ないですが、樹木を 剪定したり、お手入れをすることが好き

だなと感じるようになりました。

「自然」を相手にするからこそ、

学ぶことがすなわち生きる力になる。

遠藤さん 技能というものは、覚えて おけば必ずどこかで役に立ちます。特に 造園は対象が「自然」のため、学ぶこ とがすなわち生きるための力にもなる。 例えば解けにくいロープの結び方を知っ ているだけでも、災害などの際に人命救 助に役立ちますよね。そんな、いろいろな 知恵が技の中に凝縮されているんです。





26 27